

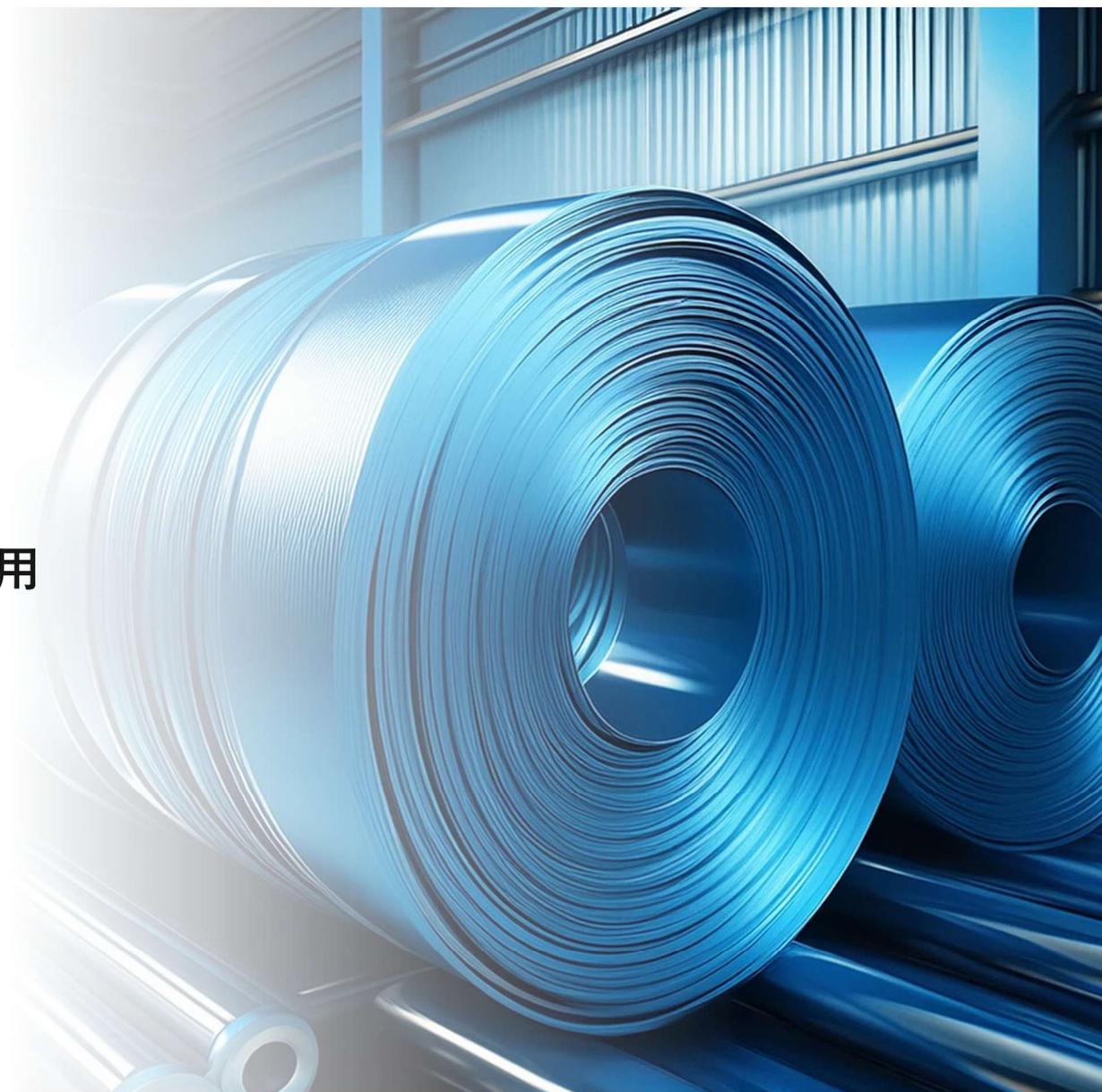


# カケフグループ°DX戦略

2025年4月15日

株式会社カケフホールディングス  
代表取締役社長 掛布 拓雄

1. ビジョン
2. DX戦略概要
3. DX推進体制
4. 人財育成および文化形成
5. ITシステム・デジタル技術の活用
6. 情報セキュリティ体制
7. 成果指標(KPI)
8. 今後のDX推進について



## はじめに

「DXorDie」とも言われるように、DXを推進できるかどうか、企業が生き残るための鍵となります。

IT業界であろうがなかろうが、業界を問わず、ビックデータやAIといったデジタル技術革新、第四次産業革命の影響を、避けることはできません。

今後、新たなデジタル技術を駆使する企業が選ばれて生き残る一方、DXを推進できない企業の競争力は低下し、衰退していくとされています。

そうは言うものの、我々が関係する製造業界ではどうなのでしょう、建築業界ではどうなのでしょう。我々が認識している状況は、データと合っているのでしょうか。

取り組むべき課題には何があり、どのような戦略や解決策が必要なのでしょうか。

今後ますます変化が激しく、将来の予測が困難で、不確実なVUCAの時代の中、カケフグループにおいては、定性的ではなく数字で議論するためにデータを活用したり、分からないことへの理解、課題の発見や解決に、DXを活用します。

そして、業務の効率化や省力化だけを目指すのではなく、業務、事業、企業の質を変化させることで、既存ビジネスの付加価値向上や、新たなビジネスの創出を行っていく。その活動を、カケフグループにおけるDXと定義します。

株式会社カケフホールディングス 代表取締役社長 掛布 拓雄

## 経営ビジョンとの連動

### MISSION 経営理念

鉄の新しい需要と高付加価値を創造し、  
社会の発展に貢献する。

お客様の課題解決を通じて信頼関係を構築し、  
共に永続的繁栄を目指す。

社員の幸福を追求し、広く社会に感謝され、  
成長し続ける人材を育成する。

特に、赤字部分の実現のため、  
DXを推進します。

### VISION

#### 鉄に生き、人々に笑顔を

私たちはこれまで「鉄事業」を心柱に、複数の強く太い事業の柱を構築してまいりました。これからは鉄にこだわり、鉄の多様な可能性を追求し、「多柱経営」を推進してまいります。

そして、経営理念に掲げられた不変の使命を果たすため、不易流行を念頭に「変革と創造」を絶え間なく続け、地域になくなくてはならない、唯一無二の「永続成長企業」を目指します。

「企業は社会の財産」。社会との積極的な対話を通じ、期待や要請を的確に捉え、笑顔あふれる豊かな社会、明るい未来づくりに貢献してまいります。

それが私たちの「志事」です。

## 3大テーマへの取り組み

### 組織づくり

推進プロジェクト活動

外部人財・企業との連携

経営者の参画

### デジタル人財の育成・確保

デジタル・リテラシー向上

関連資格の取得推進

取り組み内容の発信・共有

### ITシステム・サイバーセキュリティ

情報セキュリティ体制の構築

システムの導入・見直し

取り組み内容の発信・共有

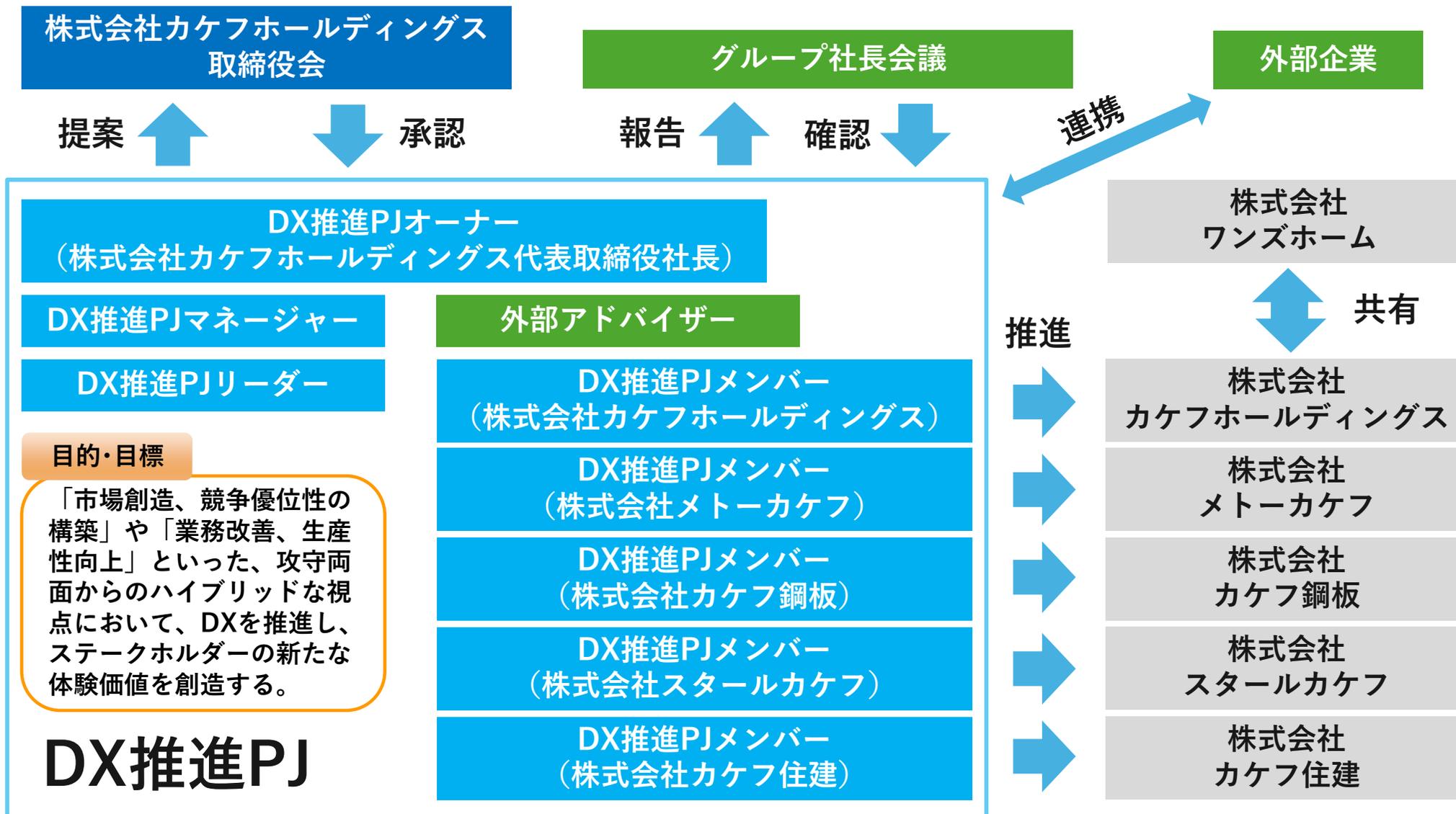
# 3. DX推進体制

組織づくり

推進プロジェクト活動

外部人財・企業との連携

経営者の参画



# 4. 人財育成および文化形成

## デジタル人財の育成・確保

### デジタル・リテラシー向上

#### DX推進PJ

- ・活動を通じた知識の向上
- ・外部アドバイザーによるデジタルリテラシー向上のための教育
- ・外部企業との連携（意見交換、相互研修の実施）

#### グループ各社

- ・DX推進PJおよび他社活動内容の活用

### 関連資格の取得推進

#### グループ全体

- ・デジタル関連資格の取得祝金の拡充
- ・外部研修の活用（オール岐阜DX研修）

### 取り組み内容の発信・共有

#### DX推進PJ

- ・活動を通じて得た知識の発信
- ・活動状況を常に全社へ開示

#### グループ各社

- ・各社における活動を通じて得た知識の発信
- ・活動状況を全社へ共有

# 5. ITシステム・デジタル技術の活用

## ITシステム・サイバーセキュリティ

情報セキュリティ体制の構築

システムの導入・見直し

取り組み内容の発信・共有

### グループ全体

- ・ DXへの投資予算の確保
- ・ 人的資本経営推進のため、HRツールを導入
- ・ Well-being向上のため、エンゲージメントサーベイシステムを導入
- ・ ローコード／ノーコードアプリ開発ツールの活用による業務改善
- ・ クラウド型経費精算システムの活用による業務効率化

### DX推進PJ

- ・ コミュニケーション基盤の構築、データやナレッジの全社横断での活用による、業務、事業、企業の質的変革を目的とし、業務チャットツールを導入

### グループ各社

- ・ 社内PJの推進(業務DX、営業DX、物流DX、システム導入、見直し、開発および改修)

### DX推進PJ

- ・ 活動を通じて得た知識の発信
- ・ 活動状況を常に全社へ開示

### グループ各社

- ・ 各社における活動を通じて得た知識の発信
- ・ 活動状況を全社へ共有

# 6. 情報セキュリティ体制

## ITシステム・サイバーセキュリティ

### 情報セキュリティ体制の構築

#### DX推進PJ

- ・ 情報セキュリティ対策状況の調査および評価の実施
- ・ 情報セキュリティ基本方針の策定および公表
- ・ 情報セキュリティ管理規程の策定

#### グループ各社

- ・ 情報セキュリティ自己診断および情報セキュリティ教育の実施

### システムの導入・見直し

#### グループ全体

- ・ DXへの投資予算の確保

#### DX推進PJ

- ・ 情報資産管理ツールの導入によるセキュリティ体制強化

### 取り組み内容の発信・共有

#### DX推進PJ

- ・ 活動を通じて得た知識の発信
- ・ 活動状況を常に全社へ開示

#### グループ各社

- ・ 各社における活動を通じて得た知識の発信
- ・ 活動状況を全社へ共有

# 7. 成果目標(KPI)

## DX戦略の達成状況に係る指標(KPI)

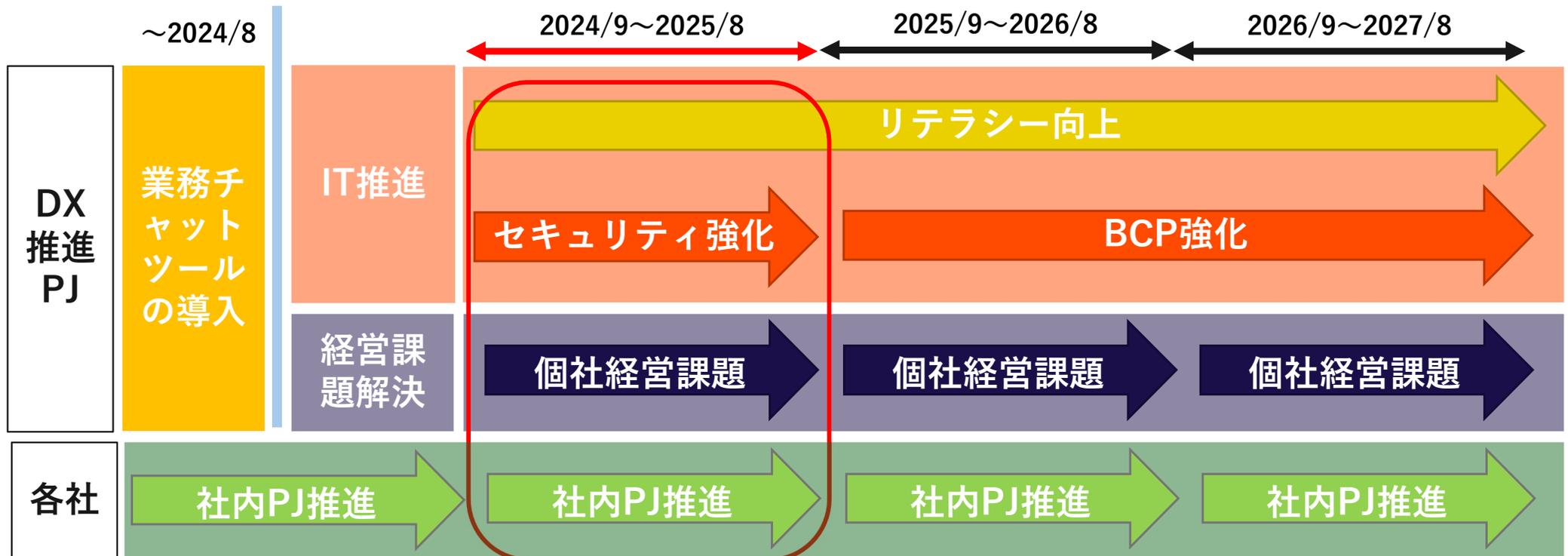
DXの取組みを、「既存事業の深耕・進化」「新規事業の創出」「経営基盤の強化」「DX人財の育成」という4つのテーマで分類し、それぞれに指標を設けて課題解決を推進します。

指標(KPI)	具体例	目標値
既存事業の深耕・進化のためのDX案件数	営業DX、カスタマーサクセスの充実、品質向上	1件/年
新規事業の創出のためのDX案件数	新たな価値、ソリューションの創造	1件/年
経営基盤の強化のためのDX案件数	業務DX、ガバナンス強化、BCP強化	1件/年
DX人財の新規育成	DX推進PJへの参加、各社内PJへの参加、関連資格の取得	5名/年

# 8. 今後のDX推進について

## DX推進活動方針

DX推進PJは、「リテラシー向上」および「個社経営課題の解決支援」を行いつつ、2025年8月までは「セキュリティ強化」に、9月以降は「BCP強化」に取り組みます。また、各社においては、DX推進PJとも連携を図りつつ、社内PJを推進します。



# 100年続く企業を目指すのではなく 100回変わる企業を目指す

